

二部	教科書 p. 382 ～ 390	組  番	名前	/50
----	---------------------------	------------	----	-----

一 傍線部の漢字の読みを書け。

- (1) 青い瞳の人形。 [ ] 各1点〔8〕
- (2) 目を凝らす。 [ ]
- (3) 洋服の柄。 [ ]
- (4) 隅の椅子に座る。 [ ]
- (5) 整頓された部屋。 [ ]
- (6) 遠慮がちに言う。 [ ]
- (7) 店が繁盛する。 [ ]
- (8) 肩を揺する。 [ ]

五 次の各組の傍線部の片仮名を、意味に注意して漢字に直せ。

- (1) 身のこなしがヤワらかい。 [ ] 各1点〔4〕
- (2) 地面が雨でヤワらかい。 [ ]
- 電車をおりる。 [ ]
- 許可がおりる。 [ ]

六 次の熟語と後の【語群】の片仮名を組み合わせ、て四字熟語を作り、漢字に直せ。

- (1) 晴耕 [ ] 各2点〔6〕
- (2) 主客 [ ]
- (3) 泰然 [ ]

【語群】

ジジャク      ハクジツ      テントウ  
ウドク      ムチュウ      バンライ

二 傍線部の片仮名を漢字に直せ。

- (1) 壁をホシシユウする。 [ ] 各1点〔8〕
- (2) ホコり高き男。 [ ]
- (3) 毛皮のカンシヨク。 [ ]
- (4) カンバンの文字。 [ ]
- (5) シンシ服売り場。 [ ]
- (6) ダンコとして反対する。 [ ]
- (7) 飛行機のドウタイ。 [ ]
- (8) バクゼンとした目的。 [ ]

七 次の書き出しで始まる小説の作品名と作者を書け。

- (1) 木曾路はすべて山の中である。 [ ] 各1点〔8〕
- 作品名 [ ]
- 作者 [ ]
- (2) 親譲りの無鉄砲で小供の時から損ばかりしている。 [ ]
- 作品名 [ ]
- 作者 [ ]
- (3) 国境の長いトンネルを抜けると雪国であった。 [ ]
- 作品名 [ ]
- 作者 [ ]
- (4) 越後の春日を経て今津へ出る道を、珍しい旅人の一群が歩いている。 [ ]
- 作品名 [ ]
- 作者 [ ]

三 傍線部の片仮名を漢字と送り仮名で書け。

- (1) すれ違いをクヤム。 [ ] 各2点〔8〕
- (2) 観光地をメグル。 [ ]
- (3) 外出をヒカエル。 [ ]
- (4) セマイ道を通る。 [ ]

四 傍線部の漢字の読みを書け。

- (1) ①施術 [ ] ②施す [ ] 各1点〔8〕
- (2) ①謙讓 [ ] ②讓る [ ]
- (3) ①撮影 [ ] ②撮る [ ]
- (4) ①透明 [ ] ②透く [ ]